



グローバルファンドのパートナーシップが第8次増資の投資計画を発表

グローバルファンドは目標額の資金を調達することで、2300万の命を救い、エイズ、結核、マラリアによる死亡者数を64%減らし、世界の健康安全保障を強化します。

2025年2月18日

ジュネーブ／ヨハネスブルグ - 世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は本日、グローバルバーチャルイベントにおいて第8次増資の投資計画を発表し、三疾患の流行の終息に向けた進展の加速と世界の健康安全保障の強化において、世界のドナーおよびパートナーとの強固な協働体制が重要であることを強調しました。

投資計画では、グローバルファンドが目標額の資金を調達することによって、2027年から2029年の間でさらに2300万の命を救い、2023年の水準と比べて三疾患による死亡率を64%低下させ、新たなアウトブレイクやパンデミックと闘うためのより強力な保健システムとコミュニティ・システムの構築をどのように進めるかについての概略が説明されています。

「私たちは、エイズ、結核、マラリアとの闘いにおいて、極めて重要な局面にいます」と、グローバルファンド事務局長のピーター・サンズは述べています。「投資を継続しなければ、これまでパートナーシップが実現してきた目覚ましい発展は危機的な状況にさらされます。180億米ドルを調達することで、2029年までに4億件の新規感染を防ぎ、2300万の命を救うことができます。現地におけるリーダーシップとグローバルな専門知識を組み合わせるといふ、グローバルファンド独自のパートナーシップの努力により、すでに三疾患を合わせた死亡率は63%低下しました。投資により、アウトブレイクが拡大する前に封じ込めるための世界の公衆衛生上の防御体制が強化されます。これは公衆衛生だけの問題ではなく、世界規模の安全保障、安定性、経済の強靱性の強化にもつながります」。

低・中所得国の人々の命を救い、健康を改善するために協力する全てのパートナーは現在、かつてない財務的課題に直面し、これまで実現してきた驚くべき進歩は危機的な状況に陥っています。過去の成果を保持するためだけではなく、使命を全うし、全ての人々にとってより健康で感染症のない未来を実現するためにも、投資を継続し、協力して行動を起こすことが重要です。

グローバルヘルスにとって歴史的な機会

「グローバルファンドが目標額の資金を調達できれば、その効果は多くの命を救うことにとどまらず、国家とコミュニティにとってゲームチェンジャーとなります」と、サンズは強調しています。「1米ドル投資するごとに、19米ドルに相当する健

康および経済的のメリットが得られると想定しています。今後 3 年間で 3230 億米ドルという驚くべき額のリターンとなります」。

グローバルファンドのパートナーシップは、各国が新しい技術やサービス提供を拡大を支援することで、持続可能性を推進しています。また、国内資金のより効率的な活用を促進し、長期的な移行計画を支援することで、各国がそれぞれの保健対応において主導権を段階的に取るようにします。

グローバルファンド理事会議長のロスリン・モラウタは、協働して行動を起こすことの意義を強調しました。「かつては克服できないと思われたことが、私たちの時代の最大の公衆衛生の成功物語の一つとなりました。団結することで、私たちはこの機会を、より健康で力強いコミュニティを実現する永続的なレガシーに変えることができます」。

グローバルファンドはエイズ、結核、マラリアの流行を終息させるというミッションの達成に尽力しています。最新の技術革新により、2030 年までにエイズを終息させられる可能性が手に届くところまでできました。、パートナーシップによって、HIV 治療へのアクセスを拡大し、ウイルスに感染するリスクが高い人々を保護する革新的な予防ツールを普及させることができれば実現可能です。

グローバルファンド理事会副議長のビエンス・ガワナスは、公平性の重要性を強調しています。「感染症と闘うというだけでなく、最も脆弱な人々が必要なケアを確実に受けられるようにすることが重要です。持続可能性と国主導によるソリューションに焦点を当てることは、長期的な成果を達成するために不可欠です」。

実績と将来に向けたコミットメント

グローバルファンドのパートナーシップによる取り組みは、保健医療を驚くほど向上させました。例えば、ザンビアでは、2002 年にわずか 43 歳であった平均余命が、2021 年には 58 歳まで大幅に延びました。この増加の 3 分の 2 以上が、エイズ、結核、マラリアによる死亡者数の減少によるものです。

新型コロナウイルス感染症、経済的混乱、紛争、気候変動といった課題があるにもかかわらず、三疾患との闘いは続いています。世界は今重要な局面にいます。公衆衛生の脅威であるエイズ、結核、マラリアの流行を終息させるという持続可能な開発目標（SDG）3 の達成は手の届くところまできていますが、継続的な投資と技術革新なくしては実現できません。

感染症予防にとどまらず、この増資は世界の健康安全保障を強化に繋がります。資金の約 3 分の 1 は、人材、検査機関、疾病サーベイランス、保健情報システムなどの重要な保健インフラの増強に活用されます。この投資が国内の保健システムとコミュニティ・システムを補強することで、将来のパンデミックと公衆衛生上の緊急事態に対する強靭性を高めることができます。

今こそ行動を起こすとき

グローバルファンドは各国政府、市民社会、民間セクターに対して、早急に力を合わせて団結するよう呼びかけます。今こそ行動を起こすときです。共に力を合わせ

れば、グローバルヘルスの軌道を変え、数百万の命を救い、全ての人に健康かつ安全で、より公平な世界を築くことができます。

—終—

世界エイズ・結核・マラリア対策基金について

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は、エイズ、結核、マラリアの流行を終息させ、全ての人に健康かつ安全で、より公平な未来を築くための世界的なパートナーシップです。年間 50 億米ドル超の資金を調達し、最も影響が深刻な 100 ヶ国以上における、三大感染症との闘い、感染症を助長する不公平の克服、保健システムの強化、パンデミックへの備えに投資しています。世界のリーダー、コミュニティ、市民社会、ヘルスワーカー、民間セクターと連帯し、最も効果的な方策を見出し、世界規模で展開しています。2002 年の設立以来、グローバルファンドのパートナーシップの支援により 6500 万の命が救われました。

詳細についてはウェブサイトをご覧ください：www.theglobalfund.org

X をフォロー <http://twitter.com/globalfund>

フェイスブックに参加 <http://www.facebook.com/theglobalfund>